



Creative Application A19

メディア実装4

「アーカイブ」記録を残す

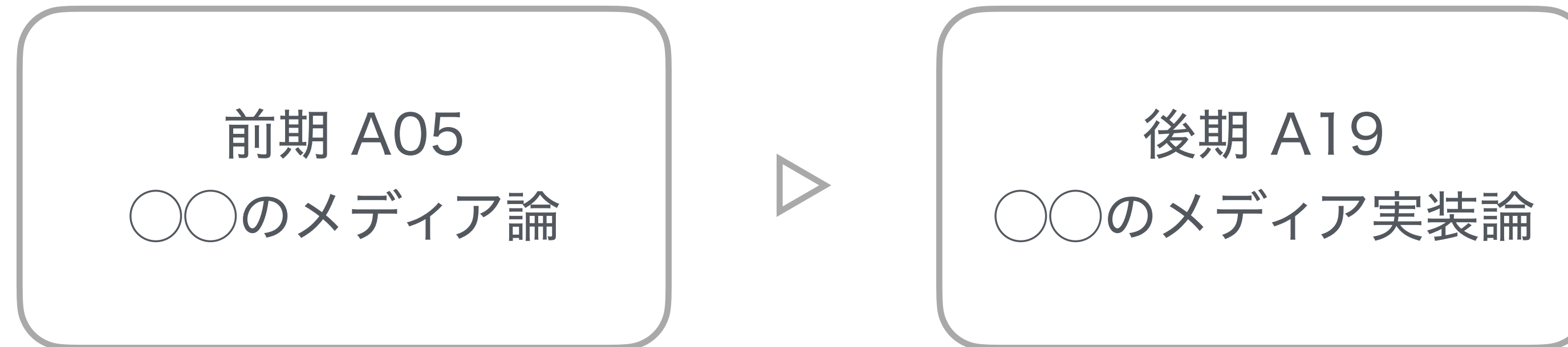
2023年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

# 受講のてびき

---

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます, 答えのない議論があります
- ・ 前半で1テーマの紹介, 後半でテーマを深める議論を行います
- ・ 前期と後期がリンクしています. 予習復習の参考にしてください



# 本日のテーマ

---

- ▶ **アウトプットを時系列方向に活かす**

# 前期概要

---

- ▶ 表現されたもの・アウトプットは存外に残らない（自省もこめて）
- ▶ 意識して残すことが重要
- ▶ そのため, CreAppでは記録を残す課題をするようにした

# ノート・メッセージング・コミュニティ

---

- ▶ **ノート**

- ▶ 自分の思考をクリアにする

- ▶ **メッセージング**

- ▶ 相手のことを知る
- ▶ 相手のことを踏まえて、自分のことを伝わりやすくする工夫

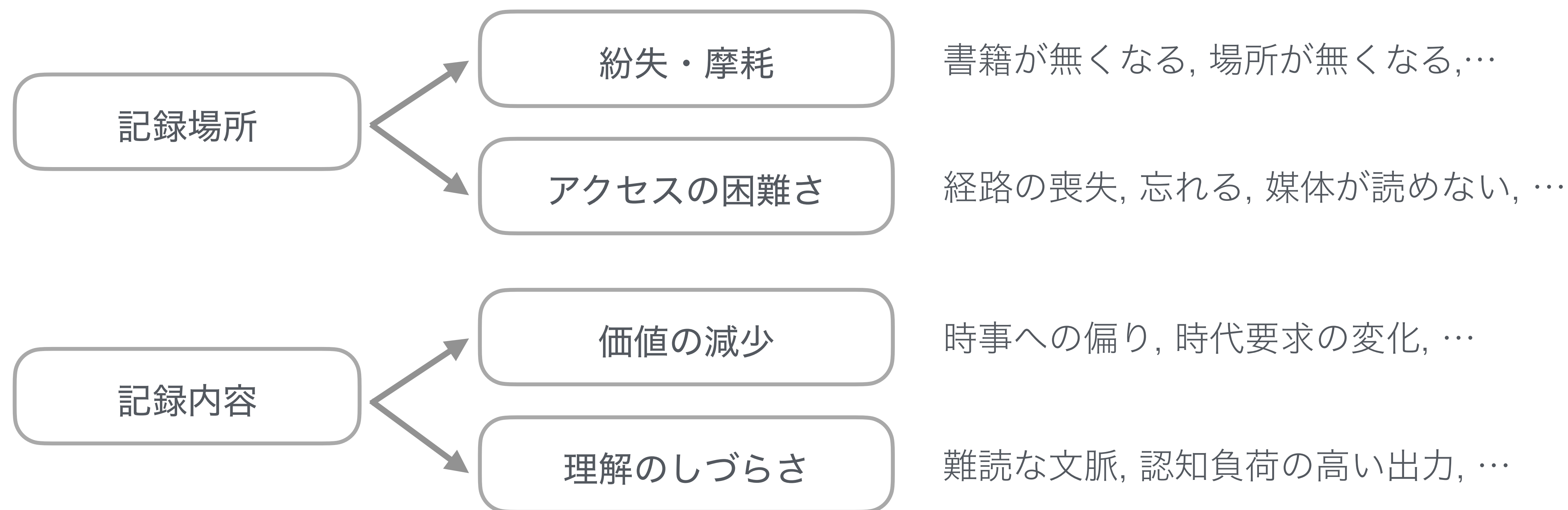
- ▶ **コミュニティ**

- ▶ 複数の交流から醸成されるつながりやすい場
- ▶ 外部への表現を前提とした、自分を伝える方法の試行錯誤

# 維持の課題

---

- ▶ 出力した情報は, 時間が経過することで性質が変化する
- ▶ ちゃんと管理しなければ維持は難しい



# アーカイブ

---

- ▶ 出力・表現したものを長く維持することを考える
- ▶ 変化を前提とした定期的なリフレッシュが重要



# まとめ

---

- ▶ 個人や他者の思考は、場で多くの表現を出力している
- ▶ しかし時間経過で多くの出力が失われる
- ▶ アーカイブ
  - ▶ 時間経過の変化を織り込んだ出力と管理を検討する
  - ▶ 出力を適宜アップデートすることは維持においても有効



# 本日の議論・考察一助

---

- a. アウトプットが失われるタイミングはどのような時だろうか
- b. アーカイブが失われた場合を想像してみる. どのような影響があるか
- c. **具体的にどのようにアーカイブを残すかの議論**

# 次回予定

---

## 知覚とメディア実装1

「アクセシビリティ」 多様な感覚へのアクセス

# 参考文献

---

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶, 「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶, 「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
6. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
7. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
8. 竹田青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
9. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
12. アレックス・オスターワルダー他著, 小山龍介訳, 「ビジネスモデル・ジェネレーション ビジネスモデル設計書」, 翔泳社, 2012
13. ティム・クラーク他著, 神田昌典訳, 「ビジネスモデルYOU」, 翔泳社, 2012
14. ティム・クラーク、ブルース・ヘイゼン他著, 今津美樹訳, 「ビジネスモデル for Teams」, 翔泳社, 2012
15. 沼上幹, 「組織デザイン」, 日本経済新聞出版, 2004